

R5 年度 事業報告書

令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人子育て支援センターちびっこはうす

【本部】

1) 委託事業

- ① 山梨県子育て支援員ファミサポ従事者(選択)研修(受託者)
- ② 山梨県社会福祉協議会(講演)
- ③ ひろば全協による 山梨県地域子育て支援拠点事業 中堅従事者研修 ファシリテータ(講師)
- ④ 甲府市保育部会研修(講義)
- ⑤ 笛吹市保育サポーター養成講座(講義)
- ⑥ 山梨県立大学 3 年ファミリーサポート論(講義)
- ⑦ 山梨学院短大 2 年 子育て支援演習(講義)
- ⑧ 山梨県立大学 1 年乳幼児教育論(講義)
- ⑨ 韮崎高校(講義)
- ⑩ ちびっこはうす 「こどもの城」子育て支援ブース

(韮崎市)

- ① にらちびフェスティバル「縄文を学ぼう・作ろう・あそぼう・感じよう」
- ② パパママ学級 1 回目 (にら★ちびデビューツアー)
- ③ パパママ学級 3 回目「ふたりで子育て」
- ④ 2 歳児のびのび教室
- ⑤ 韮崎市子育て世帯訪問支援事業 →来年度 にらちび事業へ移行
- ⑥ フェスタ韮崎「赤ちゃん休憩室」

(出張託児「ほっぺケア」)

- ① やまなし地域づくり交流センター
- ② 株式会社ケイミックスパブリックビジネス (韮崎エレクトロン文化ホール指定管理者)
- ③ 山梨県男女共同参画センター ぴゅあ総合
- ④ 株式会社チアアップ CAN PASS+(甲府市)
- ⑤ NPO 法人こもれびルーム C, s(中央市) 他

2) 自主事業

(市民企画応援)

- ① 「にらつぼクラブ」 にらちびフェスティバル・にら★ちびまつり協力 (目的:文化財活用による 子育て応援企画)
- ② 「サンカクテント」 8/5「甘利山ベビーキャリア教室」 10/17『ママの森林セラピー』 (目的:アウトドアを楽しむ)
- ③ 「むらのし寄合所」 5/25 7/25 8/8 8/22 (目的:こどもまんなか居場所作り)
- ④ 「ふじさん」 4/19 5/25 虹ラボ 6/18 SATOYOGA&パパの交流会 7/4 1/2 の働き方 (目的*パパ発信! 家族応援コミュニティ作り)
- ⑤ 「フードバンク山梨」 10/15 フードバンク 10 周年記念出展
- ⑥ 「山梨県立図書館」 10/19 図書館で楽しむ子育て「かいがらり」

(事業開発)

- ① 韮崎市「にらともさん@龍岡公民館」 9/28 10/26 11/16 12/14(目的:こどもまんなか居場所作り)
- ② 中央市産前産後応援事業「しんぼかさん」
- ③ 中央市託児付きイベント企画
- ④ 「韮崎オーガニック」 月一回 農業体験(目的:こどもまんなか居場所作り)

3)委嘱委員(ちびっこはうす理事長及び理事として参画)

- ① 韮崎市こども子育て委員
- ② 韮崎市まちひとしごと創生総合戦力策定審議会
- ③ 韮崎市スポーツコミッション地域スポーツ振興部会
- ④ 韮崎市文化財保存活用整備検討委員会
- ⑤ 中央市まちひとしごと創生総合戦力策定審議会
- ⑥ 山梨県子ども子育て委員
- ⑦ 山梨県地域公共交通協議会
- ⑧ 山梨県図書館協議会(横内)
- ⑨ びゅあ運営協議会
- ⑩ やまなし子育て応援ネットワークやまはぴ 世話人副代表

(理事監事)

- ⑪ 韮崎市サッカー協会 常任理事
- ⑫ 韮崎市観光協会 理事
- ⑬ NPO 法人河原部社
- ⑭ NPO 法人にららん

4)研修

- ① 6/4 ひろば全協 総会・記念講演会
- ② 7/28~30 大分県豊後高田市視察
- ③ 8月9日 山梨県子育て支援員研修 地域保育コース
- ④ 月一回 縄文勉強会
- ⑤ 10/2 やまはぴセミナー(夢パーク視察)
- ⑥ 11/4.5 ひろば全協 全国セミナー(静岡開催)
- ⑦ 12/9 やまはぴセミナー(山口慎太郎氏)

5) 指定管理事業アドバイザー

(韮崎市子育て支援センター・中央市子育て支援センター)

- ① 経営会議 (正副センター長 事務局長 各センター 月1回)
- ② 運営アドバイザー
- ③ 事務局アドバイザー

6)事務局

- ① 総会・理事会の開催
- ② 会員管理
- ③ 本部 会計・労務・庶務
- ④ いら★ちび指定管理事業 会計・労務・庶務
- ⑤ しん☆ちび指定管理事業 会計・労務・庶務
- ⑥ いら★ちび指定管理 所轄庁(韮崎市こども子育て課)関係との連絡
- ⑦ しん☆ちび指定管理 所轄庁(中央市子育て支援課)関係との連絡

指定管理事業部【蕪崎市子育て支援センター】

第1 理念

こどもの笑顔のために
養育者の笑顔のために
蕪崎まちぐるみで
「子育てにやさしいまち蕪崎」をめざします

第2 基本データ

対 象 : 0～6 歳までの乳幼児とそのきょうだい及び保護者・妊婦
開館時間 : 火曜～日曜日 9 時～17 時 (月曜休館日・祝日の場合は翌日)
利 用 料 : 蕪崎市民 無料 市外者 ひと世帯 100 円 年間パスポート 1,000 円
スタッフ : 11名

第3 事業内容

【1】地域子育て支援拠点事業

(1)子育てひろば

居心地の良いひろば
人と人をつなげるひろば
子連れで社会勉強するひろば
群れて子育てするひろば

のひろば4目標を基本にひろば運営を行った

新型コロナウイルス感染拡大に伴い制限のある受け入れから、段階を踏んで予約なしの利用・ランチコーナーを再開し好評も多かった しかしながらひろばが混雑することが増えたためクレームもあった、今後も利用者が気持ちよく利用できるように何を大切にするかを検討していく

●コロナ対応

令和5年 5月 10 時～12 時 / 13 時～15 時の受け入れを 10 時～15 時の開館へ変更
7月 市内 予約なしでの受け入れ開始
10月 ランチコーナーの再開
令和6年 1月 市外 予約なしでの受け入れ開始
感染予防対策 入館時の健康チェック(検温・問診) 手指の消毒 ひろばの清掃・消毒の徹底は継続

●来館者人数

	蕪崎市	市外	合計	一日平均	市内利用率
R4年度	9,721	7,885	17,606	64	50%
R5年度	14,760	12,254	27,014	97	52%

(2)子育てイベント

- ・「蕪崎まちぐるみで子育て応援」の強化のため特に蕪崎市行政及び関係団体との協働イベントに力を入れた
そのため開催関連団体や開催回数が増加した
- ・コロナ収束後、オンラインとリアルを選べるようなハイブリッド開催方式のイベントを運営し、利用者が自分に合った方法で子育てイベントに参加できるように工夫した
- ・多くの人を集めて行うイベントもコロナ前のように開催することができた
- ・子育てひろばに遊びに来るついでに気軽に相談できたり子育てを学べるしかけづくりに心がけている
今年度は保育カウンセラーも登用し相談件数が増加した
- ・父親支援及び家族支援を強化するため土・日祝日開催の子育て講習イベントを開催しており、好評をいただいているため今後も強化していきたいが、土日祝日のスタッフのマンパワーへの課題がある

●イベント実績

	開催数	参加数		
		蕪崎市	市外	合計
R4年度	1,044	7,340	5,990	13,330
R5年度	908	9,117	7,805	16,922

	具体例	開催数	参加人数
(1)子育て講習イベント	専門職による相談(保育カウンセラー・助産師・栄養士) Holiday ちびっこキャラバン 父親支援「ぱぱとこの日」 他	700	12,330
(2)子育て交流イベント	0歳児ひろば(月齢別) はたらくパパママの会 他	85	1,493
(3)蕪崎♡愛イベント	にら歩歩くらぶ 森の公園くらぶ 公園巡回	16	229
(4)まちぐるみで子育て 応援イベント	にらともさん にらさきワインフェスティバル 警察署シアター 他 (全27企画)	78	2,758
(5)すきま(ハイリスク) 支援イベント	にらまるくらぶ ファミサポ体験会 カラーセラピー相談	29	112
合計		908	16,922

【2】利用者支援事業

(1)にら★ちび子育て相談室

- ・0歳児のひろば・イベント利用が多いため、0歳児の相談が増加している
- ・たくさんの事業を一拠点で行っているため多様な相談形態が実施されている
- ・関係機関との連携については、保健師との連携(利用者支援事業・母子保健型)に一定の効果がみられる
特にパパママ学級を支援センターで行ったことで産前産後の相談が増回している
- ・LINE相談について 無料期間が終わり検証した結果、ニーズのわりにスタッフの仕事量の増加や他の相談形態がスムーズに運用されているなどにより運営を廃止した

●相談実績

	子育てひろば	子育てイベント	子育て相談室								合計
			地域支援	電話	メール	LINE	面談	予約面談	ファミサポ	訪問	
R4年度	409	319	8	32	5	9	125	42	18	28	995
R5年度	350	454	0	9	0	1	35	15	10	0-	874

●相談内容 (抜粋)

- ・産前産後の家事支援、家族関係について
- ・子育て不安、ストレス
- ・育休明けの預け先 途中入園について

●関係機関との連携

連携先	連携件数	事例
福祉課・家庭児童相談員	63	利用者支援実務者会議での情報共有
保健師	122	保健師が同行して来館した子育てに不慣れな親子のサポート
講師相談(認定カウンセラー 歯科衛生士 栄養士)	240	「ひろばで相談日」で専門的なアドバイス
ファミリー・サポート・センター	10	特性を持つ児とその家族の対応

(2)情報の提供事業

- ・毎日、子育て支援センターの様子をInstagramにUPすることにより、Instagramのフォロワー数が増加
多様なニーズに必要な情報発信を心掛けた

- ・Instagram ではタイムリーな配信ができる事で 当日の集客や情報提供にも効果があると考え
- ・センター内には 当館の情報だけでなく 市内の子育て情報、園情報など利用者の目的に合わせ情報が得られるよう工夫した

●SNS 利用状況

	HP			FB	Twitter		Instagram	
	訪問者数	ページビュー数	アップ数	アップ数	ツイート数	フォロワー	アップ数	フォロワー
年間数	42,666	96,515	153	247	94	230	191	1,385
月平均	3,556	8,043	13	21	8		16	-

(3) 蕪崎まちぐるみで子育て応援事業(にらぐるみん)

- ・子ども子育て課主催の「ベビーファースト運動」のご協力のおかげで新たな団体の登録が増加した
- ・子ども服や園グッズなど不要になった物を回収し、必要としている方に譲る活動「あつめっこかえるっこ」は事業の周知がすすみ、市民からの問い合わせも多くある 引き続き環境にやさしい活動として続けていきたい

●子育て支援団体 11団体

●蕪崎市子育て応援企業 11団体 全22団体

【新加入 9団体】

「NPO 法人空と雲」「蕪崎市愛育班」「おもちゃ病院」「ごきげん SUN」「うさはち研究所」
「あみどころ ゆきさん」「ねーじゅ体操教室」「ピスケのおうち」「古民家宮久保」

●活動内容

内容	団体数
にら★ちびまつり (12月)	20団体
にらちびフェスティバル(9月)	11団体
立ち上げ・運営相談・入会説明	9回
告知・集客協力 (ちらしの設置)	8団体
貸出し(スペース・備品)	9団体(17回)

【3】子育てボランティア養成・ステップアップ講座運営事業

- ・ケロケロ隊の登録者は無理のない範囲で活動を継続してくれている
- ・学校もボランティア活動に積極的な姿勢となり 学生の受け入れは増加した

●活動実績

(1) 蕪崎市子育てボランティア(ケロケロ隊) 活動状況

	登録数	活動人数(延べ)
R4年度	19	249
R5年度	15	226

(2) 蕪崎市子育てボランティア養成講座 (12期生)

【開催日】 令和5年6月7日(水)～7月12日(水)(開催日数 6日間)

【受講人数】 5人

【内容】 専門講座(助産師・保健師・心理士・救急法・子育て支援について)
実習(親子あそび・託児)

令和5年度は中央市と共同で開催し、どちらの市でも受講できるようにした

(3) 子育てボランティア ステップアップ講座(理論編)

【開催数】 年13回(定例会)

【受講人数】 延べ 74人

(4) 子育てボランティア ステップアップ講座(実践編)

【内容】 にらちびサポート(清掃・あそび、おやこ、イベントサポート等)・保育園サポート・自主活動

【参加数】 延べ 165人

(5) 専門職ボランティア

【登録数】 2人

【活動件数】 23件

【内容】 保育カウンセラー 栄養士相談

(6) 学生ボランティア

【登録数】 59人
【活動件数】 96件

【4】 葦崎市ファミリー・サポート・センター事業(子育て援助活動事業)

- ・おねがい会員数は増加している
- ・多くのお願い会員は もしものときのために保険的に入会している
- ・まかせて会員数は高齢化や 負担の大きい活動などが理由で 近年減少している
- ・活動理由は就労が半数を占め、年度途中での入園が叶わないことが要因と考えられる
- ・令和6年度より一時預かり事業の仕組みの改善を行う事(専任保育士の配置)により、まかせて会員の負担軽減や利用の集中の課題の解決が期待される
- ・令和6年度より 正式に「葦崎市子育て世帯訪問支援事業」が委託されたため、育児補助等の利用理由の一部は専任の訪問支援員(利用者支援専門員)に移行する予定 まかせて会員の負担軽減や利用の集中の課題の解決が期待される

● 会員数

	まかせて会員	お願い会員数	両方会員数	(内)ひとり親家庭	合計
R4年度	44	412	22	27	478
R5年度	40	458	22	29	520

● 利用理由

	就労	リフレッシュ	兄弟の行事 習い事	育児補助	通院病气	産前産後	冠婚葬祭 急用	園・学校の 休み・時間外	放課後	合計
R4年度	223	231	111	124	114	25	49	36	59	972
R5年度	456	149	120	75	63	44	15	14	0	936

【5】 一時預かり事業

- ・市関係団体のイベントの託児は新規の託児依頼「ととのうルーム」や園からの依頼があり、利用数が増加した
- ・市外者託児は託児者の不足の為 受けられなかったが、令和6年度からの一時預かり事業の仕組み改善により市外者のニーズにも応えられるよう善処する

(1) 市外者託児

【 利用人数 】 0人

(2) ニコリ託児(ニコリの館内でのイベント時の託児)

【 開催件数 】 16件

【 託児数 】 葦崎市 63人 市外 0人 合計 63人

【 託児ボランティア数 】 63人

【 主催者 】 健康づくり課・総務課

(3) 市関係団体向けイベントの出張託児

【 開催件数 】 25件

【 託児数 】 葦崎市 116人 市外 0人 合計 116名

【 託児ボランティア数 】 93人

【 主催者 】 健康づくり課・武田の里振興協会・葦崎カトリック白百合幼稚園

指定管理事業部【中央市子育て支援センター】

1 基本データ

対 象：0～6歳までの乳幼児とそのきょうだい及び保護者・妊婦
開館時間：火曜～日曜日 9時～17時（月曜休館日・祝日の場合は翌日）
利 用 料：中央市民 無料 市外者 ひと世帯 300円
スタッフ：8名（フォロースタッフ2名）

2 事業内容

1. 地域子育て支援拠点事業(一般型)
2. 利用者支援事業(基本型)
3. ファミリー・サポート・センター事業(みらいサポート・ちゅうおう)

【コロナ禍においての受入れ】

- ・子育てひろば 7月から10時～15時受入れ（定員は適時調整）
- ・子育て相談室 ファミリー・サポート・センターは開館時間中、常に対応

3 事業実績

実施事業利用者総計

事業名	人数	
	令和5年度	令和4年度
地域子育て支援拠点事業	22,114	21,285
利用者支援事業	1,520	158
ファミリー・サポート・センター事業	241	418
その他（視察・取材）	331	208
利用者総数	24,206	22,069

【1】地域子育て支援拠点事業（一般型）

5月に新型コロナウイルスが5類となったのを機に、受入れ時間の延長やランチコーナーの家族での使用を開放。利用者から好評。
長期の育休中の父親の利用が増えたのが特徴。よみきかせをお願いするなど、居場所のひとつとなるよう関りを工夫した。
また、周知、利用促進のための取り組みとして『招待券』の配布を初年度に引き続き行う。行政や愛育会、民生委員会、子育て支援団体、みらいサポート・ちゅうおうまかせて会員などに依頼した。

(1)子育てひろば

- ◎誰でも歓迎するひろば（安心して過ごせる雰囲気づくり）
- ◎「ひと」と「ひと」をつなげるひろば（共同養育のしくみ作り）
- ◎群れて子育て学びあうひろば
- ◎子連れで社会勉強するひろば

①具体的な取り組み

- スタッフによる 親子の見守り・子育て相談・利用者同士をつなぐコーディネート
- 親子で楽しむ場の提供
- 専門職への気軽な相談（助産師・栄養士）など

②子育てひろば利用者数

	中央市	市外	合計	一日平均	市内利用率
令和5年度	10,668(4,406組)	9,686(3,763組)	20,354	69.0	52%
令和4年度	11,764(4,772組)	7,367(2,841組)	19,133	70.5	61%

(2)子育てイベント

母親の育休取得また就労を希望する家庭が増え、早い段階で園を利用する家庭が多い。そのため0歳児向けのイベントの充実、また様々なニーズにこたえられる内容を企画、提供した。また、利用者アンケートやひろばでの声をイベントに反映。ニーズに応えられたイベント運営ができた。プレパパ・プレママ応援事業「ハローベビー」は参加者が集まらず、母子保健事業との連携も含めて大きな課題

①実施イベント 利用者数

開催数		中央市	市外	合計
133	利用者数(人)	1,237	523	1,760
	組数(世帯)	591	246	836

②イベント実績

●テーマ別交流会

対象・テーマ	タイトル
0歳児親子	ベビーぼけっと (0~5か月児)(6~8か月児)・あかちゃんひろば
1歳児親子	1歳の誕生会
ふたご育児	ふたご&多胎親子あつまれ
アウェイ育児他	県外出身親子あつまれ

●講師イベント

対象・テーマ	タイトル
防犯・防災	あそびのおけいこ 親子防災教室
音楽	親子リトミック ミュージックケア
歯育て	フッ素をもっと知ろう 歯育て講座
自己認識	共育ちワーク
リフレッシュ	親子エクササイズ
あそび	ちびっこキャラバン

●父親支援

対象・テーマ	タイトル
父親	ばばとこの日

●まちぐるみで子育て応援

対象・テーマ	タイトル
まちに出かける	そとあそびくらぶ
共同イベント	足育

●専門職による相談 (ひろば予約で参加可能なため、開催数、人数は総計にはカウントしない)

対象・テーマ	タイトル
0歳児親子 ~	助産師相談日 栄養士相談日

●親子の時間を楽しむ (ひろば予約で参加可能なため、開催数、人数は総計にはカウントしない)

対象・テーマ	タイトル
全	よみさかせの会

●休日の家族の時間の提供 (ひろば予約で参加可能なため、開催数、人数は総計にはカウントしない)

対象・テーマ	タイトル
全	よりみちアート かんたん木工

(3)情報の提供

Instagramは視覚的に訴求力が高く、子育て世代でも利用率が上位にあるため、効果的な情報発信ができていると考えられる。またHPにおいては、様々な視点での情報提供を心がけた。

また、センター内の掲示を工夫。利用者のニーズから水遊び場マップや、中央市幼保こども園マップ(常時)を作成。情報の提供とともに、相談の窓口の役割となっている。

外部の情報の媒体として、市においては広報のみならずXやInstagram、また山梨日日新聞への積極的な情報提供・取材依頼を行った。

①具体的な取り組み

- HP・SNS(Instagram)による情報発信
- センター内 情報コーナー
- スタッフの利用者対応による、子育て関連情報などの提供

	HP				Instagram		
	訪問者数	ユーザー数	ページビュー数	ブログ等アップ数	投稿	ストーリーズ	フォロワー
合計	40,460	20,570	103,737	184	186	555	1,140
平均	3,372	1,714	8,645	15	16	46	

【2】利用者支援事業（基本型）

気軽に子育て相談できる場であることの周知と共に、他事業(拠点・ファミサポ)と連携、また、母子保健事業・地域の子育て支援団体との連携の体制作りに努めた。
相談窓口としては、子育てひろばでの件数が最も多く、気軽に相談できる場所として機能していることが伺える。

(1)子育て相談

①相談実績

	子育て相談室				子育てひろば	子育てイベント	地域支援	ファミサポ	合計
	面談	予約相談	電話	メール					
令和5年度	230	5	4	1	559	221	1	14	1,192
令和4年度	139	5	5	9	465	165	17	10	839

②相談内容（抜粋）

分類	相談者	内容	連携先
ひとり親	父親	残業が当日夕方わかるため、学童に迎えに行き 22 時ぐらいまで預かって欲しい	健康増進課・児童館と情報共有 にじいろキッズ問合せ・事業紹介
養育者自身	母親・父親	夫婦ともに持病があり、車の運転ができない。ファミサポの説明・入会のために自宅に来てもらえるか	健康増進課 保健師の訪問に同行 ファミサポ説明・入会 センター紹介
低体重	母親	低体重で生まれたため発達が緩やか 離乳食の進め方に不安 当事者と話したい	ピアサークル M チャイルド情報提供
外国出身	母親	在住市の子育て情報がどこにいけばあるのかわからない	在住市の子育て情報を提供
預け先	祖母	県外に住む孫をしばらく預かるが、自身の用事もあり体力的にも不安 預け先はないか	ハッピーキッズえん問合せ 情報提供
多胎	母親	多胎をもつ家族との交流 育児に関する情報が欲しい	支援団体ふたご&MORE 情報提供
産前産後	妊婦	第二子妊娠中 第一子妊娠時に産後鬱を経験 産後に誰かと話す機会が欲しい	NPO 自主事業の紹介

(2)地域連携

- ・子育て支援課、健康増進課 保健師との連携の体制作り
 - *各事業内容と連携についての確認（年度初め）
 - *配慮が必要な利用者の情報の共有（随時）
- ・出張相談の取組み（事業の周知・支援センターの利用へ相談等）
 - ① 母子保健事業「4 か月健診」 ② イツモア玉穂店（しん☆ちび出張子育て相談室ブースの設置）
- ・民生員 … 定例会にてセンター・ファミサポの事業説明を行い、地域の子育て家庭への周知・利用促進の協力を依頼
- ・愛育会 … 事業にスタッフが出向き、地域の子育て家庭への周知・利用促進の協力を依頼

(3)地域支援

地域の子育て力の底上げ、地域の子育て支援団体・サークルとの連携・育成は、センター開設にあたっての大きな課題の一つであったため、オープンから早い段階で取り組みを始めた。

実施事業

1. 子育てボランティアの育成

①子育てボランティア養成講座 7月・12月に開催 受講数 6名

②活動実績

1) 登録数

種別	登録数
子育てボランティア	8
学生ボランティア	4
合計	12

2) 活動数（令和4年7月～令和5年3月）

活動日数	活動延べ人数	活動延べ人数 内訳		
		一般	学生	養成講座
76	128	82	33	13

2. まちぐるみで子育て応援

①活動スペース貸出し

		貸出し回数	利用者数	利用団体(延べ)
令和5年度	多目的ルーム	36	177	44
	会議室	15	59	
令和4年度	多目的ルーム	19	503	33
	会議室	13	59	

②利用内容

	団体名	利用数	内容
1	子育てママサークル にこにこキッズ	11	リトミック・防犯教室・歯科講習・季節のイベントや工作など
2	子育て支援サークル おんぶコアラ	2	定例会
3	山梨で多胎児育児をしやすくするため頑張る人たち	2	写真展・交流会
4	CHUO*C 子育て応援ネットワーク トタタ	2	足育イベント
5	ゆめたまご	4	県助成金事業 父子手帳企画会議・座談会
6	特定非営利活動法人 地域つながりお茶会 ちびチュウ	—	
7	びりな運動遊び	7	チアダンス・親子運動遊び
8	m-チャイルド	1	写真展
9	自己決定型支援団体 pouS	3	パペット作り・子どもの体づくり・リトミック
10	はなまるくらぶ	—	子どもたちのダンス等の披露を通じての行事参加・施設慰問

【3】ファミリー・サポート・センター事業（みらいサポート・ちゅうおう）

定期的な送迎・自宅での預かりの利用者が活動を終了したため、件数が大きく減少した。半面、依頼会員登録数は直営の頃より倍となっており、ファミサポの周知が少しずつ進んでいると思われる。ニーズの掘り起こしとともに、必要とする家庭の利用につながるよう、周知・利用促進により努めていくのが課題

①活動実績

(1) 会員数

	依頼会員	提供会員	両方会員	合計
令和5年度	285	70	14	369
令和4年度	256	80	13	349

(2) 入会数

	依頼会員	提供会員	両方会員	合計
令和5年度	47	4	2	53
令和4年度	56	4	1	61

(3) 活動数 (活動場所別)

	活動内容	支援センター内	提供会員宅	預かり・送迎	送迎のみ	合計
令和5年度	件数	74	2	25	139	240
	世帯数	33	2	1	4	40
	内 配慮が必要な家庭	0	0	0	0	0
令和4年度	件数	112	96	48	158	414

(4) 依頼の理由

活動内容	回数
保育所・幼稚園の登園前の預かり	0
放課後児童クラブ開始前後の預かり	25
子供の習い事等の場合の援助(送迎)	139
保護者の就労(短時間・臨時的・求職活動)の場合の援助	10
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	13
保護者等の外出の場合の援助	47
保護者のリフレッシュ・習い事等の預かり	2
その他	1
合計	240

② 提供会員の養成に係る事業

- (1) みらいサポート・ちゅうおう提供会員養成講座 (葦崎市と合同で開催)
- (2) 提供会員フォローアップ講座
- (3) 提供会員交流会

③ 両方会員交流会の実施

【4】自主事業

(1) 託児付きイベント企画 (養育者の学び・リフレッシュ・交流を目的とした託児イベントの開催)

実績 10月「子育て世代のマナー講座」講師：岡本守礼氏 19名
2月「すいとんを作ろう」講師：風間美智子氏(蚕室カフェかみず) 18名

(2) 産前産後サポート事業「しん☆ぼかさん」(妊娠期からのサポート・継続的な支援につなげる)

実績 申し込み 4件(内一件は保健師からの紹介) 実際のサポート 3件

山梨県子育て応援誌発行事業部【ちびっこぶれす】

令和5年度は概ね以下の通りに事業を行った。

【1】ちびっこぶれすの発行

4月号(特集・すすめ！子育てママグループ)	10月号(特集・親子イベントに行こう！)
5月号(特集・公園LOVE)	11月号(特集・子ども服、好きな服を着るよ)
6月号(特集・子育て支援センターで遊ぼう！)	12月号(特集・やっぱりパンが好き)
7月号(特集・助産師とつながろう！)	1月号(特集・この冬、読みたい育児本)
8月号(特集・真夏の夜を遊ぶ)	2月号(特集・ミュージアムへ行こう！)
9月号(特集・子どもと一緒に移住したい)	3月号(特集・はじめての美容室)

※いずれも毎月1日発行・11000~12000部・約300カ所へ配布

【2】その他

- ・子どもの城フェスタは8月にアイメッセ山梨で開催
- ・インスタグラムの活用(モデル募集、広告企画に活用)
- ・キッズくらぶ峡西100回開催